

| | | | | | | | |
|----|-----|----|---------|---------------|------|---|----|
| | | | | 整理番号 | 0801 | | |
| 教科 | 外国語 | 科 | 科目 | 英語コミュニケーション I | 単位数 | 3 | 単位 |
| 学年 | 1 | 学年 | 学科・コース等 | 普通科・機械電気科 | | | |

| 学習到達目標 | |
|--|---|
| <p>日常な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、場面や状況に即して英語で話したり、書いて表現したりすることができる。日々の学習を通じて言語の背景にある文化や価値観について理解を深め、自己と他者（異文化）を尊重し、共生する態度を涵養する。</p> | |
| 使用教材 | |
| 教科書 | COMET English Communication I (数研出版) |
| 補助教材 | ベーシックジーニアス英和辞典 第3版 (大修館) COMET English Communication I ベーシックノート (数研出版) COMET 基本英文法定着ドリル1 (数研出版) |

| 目指す力と評価 | | | |
|---------|---|--|---|
| | a. 知識および技能 | b. 思考力・判断力・表現力 | c. 主体的に学習する態度 |
| 評価の観点 | 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる。 | 日常な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 | 主体的、自律的に英語を使い、コミュニケーション能力を身につけようとするとともに、自己と他者（異文化）を尊重し、共生する態度を身につけている。基本的な学習方法を身につけ、日々の学習に活用することができる。 |
| 評価方法 | 授業における取り組みや小テスト、単元テスト、定期考査等 | 各単元や授業における各種活動の成果やパフォーマンステスト、単元テスト、定期考査等 | 授業や単元の活動に取り組む姿勢や課題等の提出状況等 |

| 年間学習計画 | | | | | |
|--------|-------------------|--|-------|---|---|
| 学期 | 単元 | 学習内容および到達目標 | 評価の観点 | | |
| | | | a | b | c |
| 一学期 | 高校英語入門 | 英語の基本語順を意識して英文を作ることができる。辞書の仕組みや活用方法を理解するとともに、必要最小限の文法用語の意味を理解し、活用することができる。 | ○ | ○ | ○ |
| | 教科書を使ってみよう | 教科書やワークシート、補助教材を自身の向上のために活用したり、学んだことを応用することができる。 | | ○ | ○ |
| 二学期 | 発音トレーニング | カタカナでは代用できない英語特有の音を聞き取ったり、発音することができる。 | ○ | | ○ |
| | Show & Tellに挑戦 | 与えられたテーマで自分のアイデアや考えを英語の文章にまとめることができる。聞き手が理解できるように工夫して発表することができる。 | | ○ | ○ |
| | 英語を英語で伝えよう | 「話法」や「間接疑問」について理解し、聞いたり読んだりした情報を第三者に的確に伝えることができる。 | ○ | ○ | ○ |
| 三学期 | 疑問文の基礎とchat (帯活動) | 疑問文の語順に習熟し、英語で質問したり、会話を持続させるための方法を身につけ、使うことができる。 | ○ | ○ | ○ |
| | 意見発表 | 与えられた課題を解決するための方法を発表し、相互に意見交換や情報交換をすることができる。 | | ○ | ○ |

| 担当者からのメッセージ |
|--|
| <p>授業で学んだことを日々の自分の学習に活かすように心がけましょう。言語学習は継続が不可欠です。「少しずつ」を「毎日」続けることが上達につながります。</p> |

開拓精神

| | | | | | | | |
|----|-----|----|---------|--------------|------|---|----|
| | | | | 整理番号 | 0802 | | |
| 教科 | 外国語 | 科 | 科目 | 英語コミュニケーションⅡ | 単位数 | 4 | 単位 |
| 学年 | 2 | 学年 | 学科・コース等 | 普通科 | | | |

| 学習到達目標 | |
|--|--|
| <p>日常な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、場面や状況に即して英語で話したり、書いて表現したりする力をさらに伸ばす。日々の学習を通じて言語の背景にある文化や価値観について理解をいっそう深め、自己と他者（異文化）を尊重し、共生する態度を涵養する。</p> | |
| 使用教材 | |
| 教科書 | COMET English Communication Ⅱ（数研出版） |
| 補助教材 | ベーシックジーニアス英和辞典 第2版（大修館） COMET English Communication Ⅱ ベーシックノート（数研出版） COMET 基本英文法定着ドリル2（数研出版） |

| 目指す力と評価 | | | |
|---------|---|--|---|
| | a. 知識および技能 | b. 思考力・判断力・表現力 | c. 主体的に学習する態度 |
| 評価の観点 | 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる。 | 日常な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 | 主体的、自律的に英語を使い、コミュニケーション能力を身につけようとするとともに、自己と他者（異文化）を尊重し、共生する態度を身につけている。基本的な学習方法を身につけ、日々の学習に活用することができる。 |
| 評価方法 | 授業における取り組みや小テスト、単元テスト、定期考査等 | 各単元や授業における各種活動の成果やパフォーマンステスト、単元テスト、定期考査等 | 授業や単元の活動に取り組む姿勢や課題等の提出状況等 |

| 年間学習計画 | | | | | |
|--------|-----------------|---|-------|---|---|
| 学期 | 単元 | 学習内容および到達目標 | 評価の観点 | | |
| | | | a | b | c |
| 一学期 | 英語の語順の復習 | 英語の基本語順について、復習し、修飾語句を加えてより長い英文を言ったり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ |
| | タブレット端末の活用 | タブレット端末を使用して、検索機能やGoogle Classroomの基本的な使い方を理解する。Eメールに課題英作文のデータなどを添付して送信したり、教科書付属の音声データを活用して日頃の学習に活かすことができる。 | ○ | ○ | ○ |
| 二学期 | アイデア・コンテスト | 「仮定法」や「関係代名詞」について学習し、これらを活用して、日常生活をよりよくするためのアイデアを英語で発表する。 | ○ | ○ | ○ |
| | 英検を活用したスピーキング練習 | 英検準2級の2次試験問題を活用して、スピーキング活動を行い、場面や状況に即した表現を身につける。 | ○ | ○ | ○ |
| 三学期 | 環境に関するプレゼンテーション | 環境問題に関するスライドと英文原稿を作成し、グループで協力して発表する。発表後は英語で相互にQ and Aを行い、即興で応答する力を伸ばす。 | ○ | ○ | ○ |

| 担当者からのメッセージ |
|---|
| 授業で学んだことを日々の自分の学習に活かすように心がけましょう。言語学習は継続が不可欠です。「少しずつ」を「毎日」続けることが上達につながります。 |

開拓精神

| | | | | | | | |
|----|-----|----|---------|--------------|------|---|----|
| 令和 | 8 | 年度 | 学習シラバス | 整理番号 | 0803 | | |
| 教科 | 外国語 | 科 | 科目 | 英語コミュニケーションⅡ | 単位数 | 2 | 単位 |
| 学年 | 2 | 学年 | 学科・コース等 | 機械電気科 | | | |

| 学習到達目標 | |
|---|--|
| <p>日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、場面や状況に即して英語で話したり、書いて表現したりする力をさらに伸ばす。日々の学習を通じて言語の背景にある文化や価値観について理解をいっそう深め、自己と他者（異文化）を尊重し、共生する態度を涵養する。</p> | |
| 使用教材 | |
| 教科書 | COMET English Communication Ⅱ（数研出版） |
| 補助教材 | ベーシックジーニアス英和辞典 第2版（大修館） COMET English Communication Ⅱ ベーシックノート（数研出版） COMET 基本英文法定着ドリル2（数研出版） |

| 目指す力と評価 | | | |
|---------|---|---|---|
| | a. 知識および技能 | b. 思考力・判断力・表現力 | c. 主体的に学習する態度 |
| 評価の観点 | 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる。 | 日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 | 主体的、自律的に英語を使い、コミュニケーション能力を身につけようとするとともに、自己と他者（異文化）を尊重し、共生する態度を身につけている。基本的な学習方法を身につけ、日々の学習に活用することができる。 |
| 評価方法 | 授業における取り組みや小テスト、単元テスト、定期考査等 | 各単元や授業における各種活動の成果やパフォーマンステスト、単元テスト、定期考査等 | 授業や単元の活動に取り組む姿勢や課題等の提出状況等 |

| 年間学習計画 | | | | | |
|--------|---------------------|---|-------|---|---|
| 学期 | 単元 | 学習内容および到達目標 | 評価の観点 | | |
| | | | a | b | c |
| 一学期 | 英語の語順の復習 | 英語の基本語順について、復習し、修飾語句を加えてより長い英文を言ったり話したりすることができる。 | ○ | ○ | ○ |
| | タブレット端末の活用 | タブレット端末を使用して、検索機能やGoogle Classroomの基本的な使い方を理解する。Eメールに課題英作文のデータなどを添付して送信したり、教科書付属の音声データを活用して日頃の学習に活かすことができる。 | ○ | ○ | ○ |
| 二学期 | 物語文創作コンテスト | 教科書で学習した英文の中から、印象的な1文を借用し、オリジナルの物語文を創作し、発表する。 | ○ | ○ | ○ |
| | 英検を活用したスピーキング練習 | 英検準2級の2次試験問題を活用して、スピーキング活動を行い、場面や状況に即した表現を身につける。 | ○ | ○ | ○ |
| 三学期 | 架空の部活動紹介（プレゼンテーション） | 全国の高校のユニークな部活動を参考に、架空の部活動についてスライドと英文原稿を作成し、グループで協力して発表する。発表後は英語で相互にQ and Aを行い、即興で応答する力を伸ばす。 | ○ | ○ | ○ |

| 担当者からのメッセージ |
|---|
| 授業で学んだことを日々の自分の学習に活かすように心がけましょう。言語学習は継続が不可欠です。「少しずつ」を「毎日」続けることが上達につながります。 |

開拓精神

鹿児島県立頴娃高等学校

| | | | | | | | |
|----|-----|----|---------|--------------|------|---|----|
| 令和 | 8 | 年度 | 学習シラバス | 整理番号 | 0804 | | |
| 教科 | 外国語 | 科 | 科目 | 英語コミュニケーションⅢ | 単位数 | 4 | 単位 |
| 学年 | 3 | 学年 | 学科・コース等 | 普通科 | | | |

| 学習到達目標 | |
|---|---|
| <p>日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを理解し、情報や考え、気持ちなどを、場面や状況に即して英語で話したり、書いて表現したりすることができる。積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする姿勢で、言語の背景にある文化や価値観について理解を深め、自己と他者（異文化）を尊重し、共生する態度を涵養する。</p> | |
| 使用教材 | |
| 教科書 | COMET English Communication Ⅲ（数研出版） |
| 補助教材 | ベーシックジーニアス英和辞典 第2版（大修館） COMET English Communication Ⅲ ベーシックノート（数研出版） |

| 目指す力と評価 | | | |
|---------|---|---|---|
| | a. 知識および技能 | b. 思考力・判断力・表現力 | c. 主体的に学習する態度 |
| 評価の観点 | 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる。 | 日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 | 主体的、自律的に英語を使い、コミュニケーション能力を身につけようとするとともに、自己と他者（異文化）を尊重し、共生する態度を身につけている。基本的な学習方法を身につけ、日々の学習に活用することができる。 |
| 評価方法 | 授業における取り組みや小テスト、単元テスト、定期考査等 | 各単元や授業における各種活動の成果やパフォーマンステスト、単元テスト、定期考査等 | 授業や単元の活動に取り組む姿勢や課題等の提出状況等 |

| 年間学習計画 | | | | | |
|--------|---------------|--|-------|---|---|
| 学期 | 単元 | 学習内容および到達目標 | 評価の観点 | | |
| | | | a | b | c |
| 一学期 | 新聞や雑誌の記事を読む | 新聞や雑誌の記事を読んで、内容をおおまかに把握することができる。記事について、自分の考えたことを発表することができる。記事を基に、更に調べたことについてプレゼンテーションをしたり、意見交換をすることができる。 | ○ | ○ | ○ |
| | 要約文を書く | もとの文章から話題文と重要な支持文を抜き出すことができる。情報を取捨選択して要約文を書くことができる。 | ○ | ○ | ○ |
| 二学期 | 聞き取りトレーニング | 実際に話される英語で、語の強勢の変化を聞き取ることができる。世界各国の英語の発音の違いに気付くことができる。 | ○ | | ○ |
| | ディベートに挑戦してみよう | 1つの論題について、肯定と否定の立場を明確にして、意見を出すことができる。主張のポイントとなる論点や予想される反論を考えて、情報や資料を集めることができる。 | ○ | ○ | ○ |
| | 基本英文法の復習 | 「分詞構文」や「関係代名詞」等について理解し、その文法を使った英文を読んだり、書いたりすることができる。 | ○ | | ○ |
| 三学期 | 実践的な英文を読んでみよう | これまで学んだトピックに関する、より実践的な英文を読んでその内容を理解できる。 | ○ | ○ | ○ |
| | 意見発表 | 与えられた課題を解決するための方法を発表し、相互に意見交換や情報交換をすることができる。 | ○ | ○ | ○ |

| 担当者からのメッセージ |
|--|
| <p>授業で学んだことを日々の自分の学習に活かすように心がけましょう。言語学習は継続が不可欠です。「少しずつ」を「毎日」続けることが上達につながります。</p> |

開拓精神

鹿児島県立頴娃高等学校

| | | | | | | | |
|----|-----|----|---------|--------------|------|---|----|
| | | | | 整理番号 | 0805 | | |
| 教科 | 外国語 | 科 | 科目 | 英語コミュニケーションⅡ | 単位数 | 2 | 単位 |
| 学年 | 3 | 学年 | 学科・コース等 | 機械電気科 | | | |

| 学習到達目標 | |
|---|--|
| <p>日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、場面や状況に即して英語で話したり、書いて表現したりする力をさらに伸ばす。日々の学習を通じて言語の背景にある文化や価値観について理解をいっそう深め、自己と他者（異文化）を尊重し、共生する態度を涵養する。</p> | |
| 使用教材 | |
| 教科書 | COMET English Communication Ⅱ（数研出版） |
| 補助教材 | ベーシックジーニアス英和辞典 第2版（大修館） COMET English Communication Ⅱ ベーシックノート（数研出版） COMET 基本英文法定着ドリル2（数研出版） |

| 目指す力と評価 | | | |
|---------|---|---|---|
| | a. 知識および技能 | b. 思考力・判断力・表現力 | c. 主体的に学習する態度 |
| 評価の観点 | 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる。 | 日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 | 主体的、自律的に英語を使い、コミュニケーション能力を身につけようとするとともに、自己と他者（異文化）を尊重し、共生する態度を身につけている。基本的な学習方法を身につけ、日々の学習に活用することができる。 |
| 評価方法 | 授業における取り組みや小テスト、単元テスト、定期考査等 | 各単元や授業における各種活動の成果やパフォーマンステスト、単元テスト、定期考査等 | 授業や単元の活動に取り組む姿勢や課題等の提出状況等 |

| 年間学習計画 | | | | | |
|--------|---------------|--|-------|---|---|
| 学期 | 単元 | 学習内容および到達目標 | 評価の観点 | | |
| | | | a | b | c |
| 一学期 | パラフレーズ入門 | 与えられたテキストの内容を、別な英語に言い換えて表現することができる。 | ○ | ○ | ○ |
| | 紙上ディベート | 与えられたテーマについて、指定された立場から意見を構築し、英語で表現することができる。 | ○ | ○ | ○ |
| 二学期 | 発音トレーニング | 英語独特の音に注意をして、はっきりとした発音、なめらかな発音を心がけ、効果的に情報伝達をすることができる。 | ○ | | ○ |
| | エッセイライティングに挑戦 | 自分が興味を持っている社会問題について、必要な情報や感想・意見を英語でまとめることができる。それらを使って、構成を工夫し、読み手が理解しやすいようなエッセイを書くことができる。 | ○ | ○ | ○ |
| | 基本英文法の復習 | 「関係詞」や「分詞」、「使役動詞」について理解し、それらの文法を使った英文を、読んだり書いたりすることができる。 | ○ | | ○ |
| 三学期 | 朗読劇に挑戦 | 登場人物の気持ちを考えながら朗読劇を演じて発表をすることができる。 | ○ | ○ | ○ |
| | 意見発表 | 与えられた課題を解決するための方法を発表し、相互に意見交換や情報交換をすることができる。 | ○ | ○ | ○ |

| 担当者からのメッセージ |
|--|
| <p>授業で学んだことを日々の自分の学習に活かすように心がけましょう。言語学習は継続が不可欠です。「少しずつ」を「毎日」続けることが上達につながります。</p> |

開 拓 精 神

| | |
|------|------|
| 整理番号 | 0806 |
| 単位数 | 2 単位 |

| | | | |
|----|-------|---------|---------|
| 教科 | 外国語 科 | 科目 | 論理・表現 I |
| 学年 | 3 学年 | 学科・コース等 | 普通科 |

| 学習到達目標 | |
|--|---|
| 英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。言語の背景にある文化や価値観について理解を深め、自己と他者（異文化）を尊重し、共生する態度を涵養する。 | |
| 使用教材 | |
| 教科書 | MY WAY Logic and Expression I New Edition (三省堂) |
| 補助教材 | ベーシックジーニアス英和辞典 第2版 (大修館) |

| 目指す力と評価 | | | |
|---------|--|---|---|
| | a. 知識および技能 | b. 思考力・判断力・表現力 | c. 主体的に学習する態度 |
| 評価の観点 | 英語の語彙や文法、表現などの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開が適切にできる。情報や考えなどを効果的に伝えることができる。 | 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えを活用することができる。伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして、要点や意図などを明確にしながら、情報や考えなどを伝え合うことができる。 | 主体的、自律的に英語を使い、コミュニケーション能力を身につけようとするとともに、自己と他者（異文化）を尊重し、共生する態度を身につけている。基本的な学習方法を身につけ、日々の学習に活用することができる。 |
| 評価方法 | 授業における取り組みや、パフォーマンステスト、単元テスト、定期考査等 | 各単元や授業における各種活動の成果やパフォーマンステスト、単元テスト、定期考査等 | 授業や単元の活動に取り組む姿勢や課題等の提出状況等 |

| 年間学習計画 | | | | | |
|--------|--------------|--|-------|---|---|
| 学期 | 単元 | 学習内容および到達目標 | 評価の観点 | | |
| | | | a | b | c |
| 一学期 | 学校生活について発表 | 初対面の会話と自己紹介のスピーチをし、あわせて友だちのスピーチの要点をまとめることができる。ライティングの基本的な構成を理解して、学校生活や部活動を紹介する記事を書くことができる。 | ○ | ○ | ○ |
| | 学校や町を紹介 | 自分の学校や町について、施設や場所の特徴を説明する表現を用い、事実や自分の考えをまとめて発表することができる。 | ○ | ○ | ○ |
| 二学期 | 英語でスキット | レストランで料理を注文する場面を設定して、会話を考え、役割を決めてスキット形式で発表することができる。 | ○ | ○ | ○ |
| | 食事と文化について発表 | 基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考えを整理して、日本の食文化や世界の食文化を紹介するレポートを書くことができる。自分が選んだ料理の作り方をジェスチャーを使うなどして、視覚的にも工夫して発表することができる。 | ○ | ○ | ○ |
| | 地域の観光案内をしよう | 地域の特徴や文化について、効果的な構成にまとめて発表できる。外国人観光客への案内を想定してスキット発表ができる。 | ○ | ○ | ○ |
| 三学期 | 行きたい場所について発表 | 外国で行きたい場所について、特徴や食文化、観光地などを調べ、事実や自分の気持ちをまとめて発表することができる。 | ○ | ○ | ○ |
| | ディベートに挑戦 | 論題について、肯定と否定の立場を明確にして、意見を出すことができる。理由や具体的な説明を挙げることができる。 | ○ | ○ | ○ |

| 担当者からのメッセージ |
|---|
| 授業で学んだことを日々の自分の学習に活かすように心がけましょう。言語学習は継続が不可欠です。「少しずつ」を「毎日」続けることが上達につながります。 |

開 拓 精 神